トピックス

トピックスでは、この間の行われた取り組みの一部を掲載しています。
組合員活動についての最新情報や取り組みはホームページをご覧ください。

つどいを開催しました。

ペットボトルのキャップで かわいい帽子作り。

八戸地域
白銀こ～ぷ委員会





7月18日（土）八戸市白銀公民館で「うきうきこ～ぷのつどい」を開催しました。

委員全員が講師となって、ペットボトルでかわいい帽子を作りました。ペットボトルキャップに麻の糸を貼り付けて巻いていくのですが、つばの部分は小さくしたり、大きくすることもできます。飾りつけもそれぞれで考えて、世界に一つだけのかわいい帽子ができました。

店舗職員と一緒に地養豚と コープの「もったいないを活かす」を 学習しました。

弘前地域
和徳東こ～ぷ委員会





7月27日（月）和徳店2階組合員集会室において、和徳東こ～ぷ委員会主催のうきうきコープのつどいが参加者8名、委員4名、和徳店の職員4名の合計16名で開催されました。

はじめに、しおりの学習を行いました。地養豚のことや「もったいないを活かす」マーク付き商品についてお知らせしました。

次に、3つのテーブルに分かれて、「地養豚とさつまいもの甘酢炒め」を調理しました。

調理後、みんなで試食をしました。簡単に調理できるのに美味しいと大好評でした。最後に、和徳店の職員からお店の宣伝があり盛り上がって終了となりました。

毛糸で作る ふわふわ「シマエナガ」作り。

青森地域
小柳造道こ～ぷ委員会





7月8日（水）、青森県民生協八重田店2F多目的室において、小柳造道こ～ぷ委員会主催「うきうきコープのつどい」を開催しました。

しおりの学習では、こめっこ地養豚の料理方法を参加者全員に聞きました。それぞれの家庭での活用方法を聞くことができ、和気あいあいとした雰囲気でつどいを進めることができました。

「シマエナガ作り」では、毛糸の「はじ」を見つけるのに苦労したり、巻いた糸を切るのに四苦八苦したりと大盛り上がり！講師の「焦らなくても大丈夫ですよ～」の声に励まされながら、時間内に皆さん完成させることができました。

五所川原事務所前を 立佞武多の観覧場所として提供しました

五所川原地域





8月4日～8日の五所川原立佞武多の開催期間中、五所川原事務所前を観覧場所として提供しました。事務所前では、令和8年熊本地震募金やどこから五所川原市に来たか地図にコーすけのシールを張っていただいた方に、金魚ねぷた（完品またはキット）をプレゼントしました。

また、開催期間中は広島・長崎へ原爆が投下された日と重なることから、事務所内で高校生が描いた原爆の絵展やコープあおもりの取り組みなどをお知らせする展示を開催しました。

松原店で上松原町会の盆踊り大会 が開催されました。

弘前地域
松原店舗こ～ぷ委員会





8月16日、17日、松原店の駐車場で上松原町内会の盆踊り大会が開催され、コープあおもりからは松原店舗こ～ぷ委員会が参加し、輪投げでお祭りに来た子供たちに楽しんでもらいました。16日には会場に町会で制作し弘前ねぷたまつりで運行したねぷたの展示があり、17日には仮装して盆踊りに参加する仮装大会が実施されました。

西弘店でマグロの解体ショーを 実施しました。

西弘店





8月1日（土）、西弘店でマグロの解体ショーを開催しました。解体を始める前に入荷した本マグロの重量当てを行いました。答えた体重が一番近かった組合員さんには解体後に販売するマグロの割引券をプレゼントし、重量当てに参加してくれた方にも参加賞をお渡ししました。

解体したマグロは下北で獲れた30.2 kgの本マグロで、職人さんがカマやトロ、赤身といった今どこの部位を切っているのかなどを説明しながら、鮮やかな包丁さばきで瞬く間に切り分ける姿に拍手がおこりました。

職人さんがさばいたマグロはすぐ柵に切り分けられショーケースに陳列し、組合員の皆さんに購入されていきました。

当日マグロの解体ショー以外にも、西弘店では全店共通のビンゴ大会や店舗に掲示した動物や魚の絵を見つけると一回ガシャポンが回せるキッズガチャをはじめ、来店したお子さんを対象にポップコーンの無料配布を行いました。

今後の予定、最新の各地域の取り組みはこちらからご確認できます。